

授業科目 身体運動文化論

【担当教員名】 小田切毅一	対象学年	2, 3	対象学科	スポーツ
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：GIO＞】

「身体や運動」に関わる文化、もしくはスポーツに関する文化的諸事象が、時代的制約や社会的ニーズとの関係性の中で、どのように伝播されたり変容されてきたかを、近代日本史における変動期を事例にして概説する。関連文化のクリエイターである学生に不可欠な教養を身につけるとともに、さらに学問的・科学研究への具体的関心となるスポーツの文化・社会的諸事象について理解を深める。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：SBO＞】

- ・明治期における西欧文化の伝播によって、スポーツはどのように受け入れられ、定着していったかを理解する。
- ・江戸期と明治期とのスポーツの文化的連続面や不連続面について、一定の見識をもてるようにする。
- ・戦前期までに、いわゆる日本の体育・スポーツ道として形成されるに至ったスポーツの文化的特性を理解する。
- ・終戦にともなう民主化の要請によって、体育やスポーツへの強調点はどのようにシフトしたかについて学ぶ。
- ・現代の多様な文化的様相の中で、身体や運動に関わる文化の可能性を発展的にとらえる視座を具体化できるようにする。
- ・スポーツが今日の極めて重要な社会的・文化的ニーズと関わっていることを理解できるようにする。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	時代的制約・社会環境に伴い変化する身体文化・運動文化・スポーツ文化		
2	江戸期と明治期①：我が国への近代スポーツの導入への戸惑いや混乱		
3	江戸期と明治期②：「着物社会」における身体運動と「腰・肚文化」考		
4	江戸期と明治期③：野球の伝播と普及にみる日本的野球とアメリカ的野球論		
5	江戸期と明治期④：嘉納時五郎による柔道の発明と西欧型身体		
6	戦前期と戦後期①：日本の体育・スポーツ道の形成（道的・修練としての体育実践）		
7	戦前期と戦後期②：「体操科」（体録科）から「体育科」へ		
8	戦前期と戦後期③：国民体育大会ならびに日本レクリエーション大会開催の裏表		
9	戦前期と戦後期④：東京オリンピック前後におけるスポーツ・ガンバリズム		
10	現代的諸相①：スポーツの勝利至上主義、記録化、合理化、高度化etc.		
11	現代的諸相②：行うスポーツと見るスポーツ（ヒーローと観衆、情報化）		
12	現代的諸相③：スポーツの近代化そして脱近代化、ニュースポーツ現象への期待		
13	現代的諸相④：生涯スポーツの時代、健康ブームの中の運動習慣づくり再考		
14	現代的諸相⑤：みんなのスポーツ、スポーツする権利、ジェンダー論から		
15	総括論議：身体・運動・スポーツ文化を変容させるもの、目指すもの		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	授業に先立って適宜提供			
参考書	金芳保之、松本芳明『現代生活とスポーツ文化』大修館			
その他の資料				
【評価方法】 出席の実績＋試験およびレポート		【履修上の留意点】		